



失語症とは言語障害である。

失語症に罹っている人々は話す、理解する、読む、書く、計算することに何らかの問題を持っている。

失語症の原因は脳の傷害である。ほとんどの場合脳卒中が原因である。ただ時として事故や腫瘍が失語症の原因となることがある。



脳の中の血流が急に阻害されると脳卒中を起こす。この状態が起こるには2つの方式がある。1つは血管が詰まること。もう1つは血管が漏れること。

梗塞（詰まり）：

血管壁が厚くなる（thrombosis）とか、血管の内部が詰まる（embolism）ことにより血管が閉塞する。これは脳梗塞と呼ばれている。



漏洩：

血管内部に軟らかい部分ができ（aneurysm）、やがてその部分が多孔質となり、血液が漏れたり、破裂する。これは脳卒中と呼ばれている。



医師達は通常脳卒中のことをCVA (Cerebral Vascular Accident) と呼ぶ。



言語は日々の生活の重要な位置を占めている。他人と話し、新聞を読み、仕事をし、学び、更には考えをまとめるために言語を使うし、将来の計画を立てるためにも言語が必要である。

一度失語症に罹るとそれまでの日々ではごく当たり前だったことに問題を抱えることになる。

- ・ 会話する
- ・ 仲間で話したり、騒がしい環境で話す
- ・ 書籍、新聞、雑誌、さらには時として道路標識を読む
- ・ 冗談が分かる
- ・ テレビ、ラジオの番組を理解する
- ・ レターを書いたり、書式を記入する
- ・ 電話をかける
- ・ 計算をし、数字を覚え、金を扱う
- ・ 自分の名前や家族の名前を言う



失語症に罹った人達は言葉に困難を伴う。しかし気が違っている訳ではない。

失語症に罹った人たちの大部分は人生が大幅に変わったことを感じる。以前は簡単に出来たことが今はとても時間がかかり、大変頑張らねばできない。失語症に罹った多くの人達は不安で、これからどうなるのだろうと心配している。従い周りから手を差し延べ、支えてあげることがとても大切なこととなる。同じように失語症に罹っている他の人たちと会うことも助けになる。失語症の人達はお互いに理解し合う。そこでは言葉は必要が無い。

あなたは自分で何をする事ができるでしょうか？

- ・ 自分は失語症だと人々に話す
- ・ 小さなカードに失語症の意味を書いて身につける
- ・ 自分の言いたいことが言葉でよく通じなかったら他の手段をつかう。ジェスチャー、絵を描く、字を書く、指差すなど。
- ・ 家族や友達に助けをもとめる
- ・ 先立って計画する。話すことを整理し準備する。頭のなかでも、絵に書いてでも。
- ・ 心配なことは周りの人に話す。自分一人で考え込まない。

